

資料 2

令和4年度 第2回
佐倉市高齢者福祉・
介護計画推進懇話会
(令和4年8月4日)

第8期〔令和3年度～令和5年度〕 佐倉市高齢者福祉・介護計画

進行管理・点検評価について
【 令和3年度 】

高 齢 者 福 祉 課

介 護 保 険 課

目次

1. 佐倉市の高齢者人口 高齢者人口・高齢化率の推移	1
2. 進行管理・点検評価の実施	
(1) 進行管理・点検評価の実施方法について	2
(2) 令和3年度 進行管理(進捗状況)について	3
(3) 令和3年度 重点施策の評価(課題・対応)について	4
(4) 令和3年度 評価(総合)について	6
3. 第8期 佐倉市高齢者福祉・介護計画 施策の進捗状況一覧	
第1章 「生きがい・介護予防」 ～地域で支え合いながら活躍する高齢者へ～	7
1 社会参加の促進と敬老意識の高揚	7
(1) 高齢者の生きがいにつながる情報の提供	
(2) 学習機会の確保	
(3) 活動機会の確保	
(4) 敬老事業の推進	
2 いきいき健康づくり	9
(1) 健康づくりの推進	
(2) スポーツ活動の推進	
3 介護予防の総合的な推進	9
(1) 一般介護予防事業	
(2) 介護予防・生活支援サービス事業	
第2章 「安心な生活の確保」 ～住み慣れたまちで自分らしく暮らすために～	11
1 安心できる在宅福祉サービスの提供	11
(1) ひとり暮らし・高齢者世帯を支える在宅福祉サービス	
(2) 在宅生活における介護者等への負担軽減	
(3) 見守り支援・もしもの時の支援	
2 認知症にやさしい佐倉の推進	12
(1) 認知症の理解を深めるための普及・啓発	
(2) 予防	
(3) 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援	
(4) 認知症バリアフリー、若年性認知症の人の支援、社会参加支援	
3 権利擁護と地域での見守り	14
(1) 成年後見制度	
(2) 地域福祉権利擁護事業(日常生活自立支援事業)	
(3) 高齢者の虐待防止	
(4) 養護老人ホームへの適切な入所措置	
4 在宅生活を支える体制の充実	14
(1) 生活支援体制の整備	
(2) 地域ケア会議の推進	
5 高齢者が暮らしやすい住環境の整備	15
(1) 福祉のまちづくり推進	
(2) 安心して利用できる交通基盤の整備	
(3) 高齢者が生活しやすい住まいの整備	
6 地域包括支援センターの運営	16
(1) 安定した事業運営	
(2) 多様な相談体制(総合相談)	
(3) 専門職による介護支援専門員の支援体制	
(4) 圏域間の連携	
(5) 地域包括支援センターの事業評価	
7 災害・感染症対策の推進	17
(1) 災害への対応	
(2) 感染症等による健康危機への対応	
第3章 「医療・介護」 ～いつまでも自分らしく生きるために～	18
1 在宅医療・介護の連携と推進	18
(1) 医療・介護連携における課題の把握と対応策の検討	
(2) 医療・介護関係者に対する相談体制の構築	
(3) 地域住民への普及啓発	
(4) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築・推進	
2 介護保険制度の適正な運営	18
(1) 介護保険サービスの推進	
(2) 介護保険制度の円滑な運営や給付の適正化	
(3) 介護サービスの質の向上	
(4) 介護保険などに関する情報の提供・周知啓発	

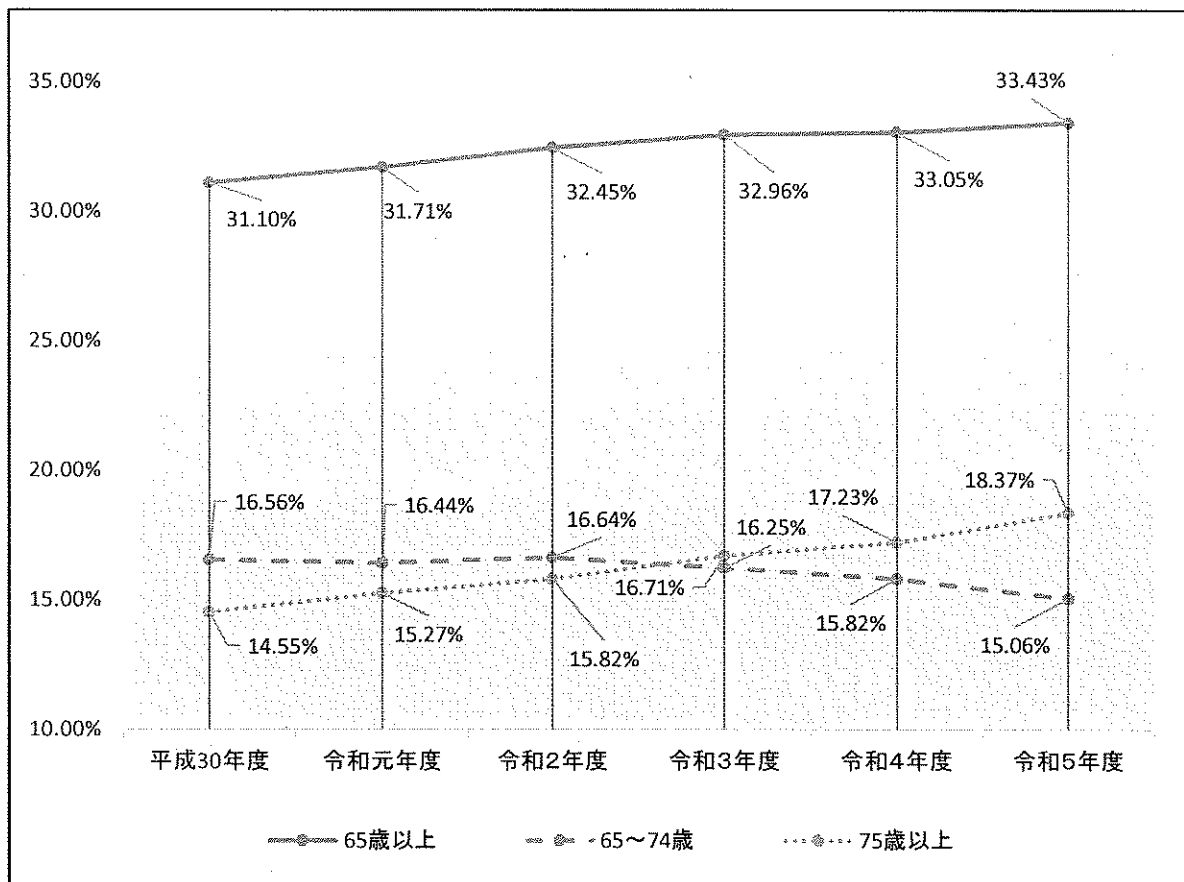
1. 佐倉市の高齢者人口

「高齢者人口の推移」

[単位:人]

区分	第7期 (実績)			第8期(推計)		
	平成30年度 (2018年) H31.3.31	令和元年度 (2019年) R2.3.31	令和2年度 (2020年) R3.3.31	令和3年度 (2021年) R4.3.31	令和4年度 (2022年) R4.9.30	令和5年度 (2023年) R5.9.30
全人口	175,476	174,695	173,216	171,747	171,901	170,709
40歳未満 全人口比	61,766 35.20%	60,429 34.59%	58,562 33.81%	56,996 33.19%	56,923 33.11%	55,726 32.64%
40~64歳 全人口比	59,135 33.70%	58,868 33.70%	58,438 33.74%	58,144 33.85%	58,168 33.84%	57,909 33.92%
65歳以上 全人口比	54,575 31.10%	55,398 31.71%	56,216 32.45%	56,607 32.96%	56,810 33.05%	57,074 33.43%
65~74歳 全人口比	29,051 16.56%	28,715 16.44%	28,819 16.64%	27,903 16.25%	27,195 15.82%	25,717 15.06%
75歳以上 (全人口比)	25,524 14.55%	26,683 15.27%	27,397 15.82%	28,704 16.71%	29,615 17.23%	31,357 18.37%

「高齢化率の推移」



2. 進行管理・点検評価の実施

「佐倉市高齢者福祉・介護計画」は、佐倉市の高齢者福祉及び介護保険事業運営にかかる基本理念・基本目標を定めるとともに、その実現のための施策を定めるため策定する計画です。

第8期佐倉市高齢者福祉・介護計画の計画期間は、令和3年度から令和5年度までの3カ年です。

基本理念 みんなで支え合い、よろこびが生まれる都市・佐倉

基本目標 可能な限り住み慣れた地域で日常生活を営むことができるよう、地域包括ケアシステムの構築、推進を図る。

本計画に基づく事業の実施状況や効果、課題などについては、関係会議において報告・協議し、事業が円滑に実施されるよう努めております。

また、得られた進捗状況や評価、課題については、適正な事業実施を図るため、運営や事業見直し時に反映・改善が図られることや、事業の進行管理及び点検評価が効率的に行えるよう、佐倉市高齢者福祉・介護計画推進懇話会においても、ご意見を頂いております。

(1) 進行管理・点検評価の実施方法について

第8期「佐倉市高齢者福祉・介護計画」では、7ページ以降に示すように、第1章から第3章となる、各種施策を定めています。

各施策では、その取組みが数値等による進捗状況も把握できるよう指標の計画値を採用するよう努めていますが、取組みにあっては指標を採用できないものもあります。

- はじめに、各施策の進行管理(進捗状況)を実施します。結果にあたっては、
- ①取組みに指標(計画値)があるものは《測定評価》を実施し、概要を記入します。
 - ②取組みに指標がないものは、《進捗評価》を実施し、概要を記入します。
- その結果を各章ごとや重点施策等に区分し、年度結果を集計し、進捗状況とします。

次に、計画の重点施策について、評価を実施します。

介護保険法第117条では、第8期計画に定めた「被保険者の地域における自立した日常生活の支援、要介護状態等となることの予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止及び介護給付等に要する費用の適正化への取組及び目標」について、自己評価し、その結果を公表するように努めるよう規定されています。

これらの内容は、第8期計画の重点項目ともなりますので、その自己評価結果も活用し、課題及び対応策を明確にします。

これらの進行管理及び評価・課題・対応方針等により、各年度の評価(総合)を実施します。

実施結果は第8期計画の推進に向け、効果的な事業管理を図ります。

(2) 令和3年度 進行管理（進捗状況）について

各施策の進行管理(進捗状況)は次のとおり実施します。

指標の計画値 有の場合

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
通しNo. ○○○○○ 事業	利用人数 (人)	R3	50	45	90.0%	実施状況の内容や成果、課題や実施できない 場合の状況等を簡略に記入 ↑ 実績値/計画値の割合(自動判定)
		R4	55			
		R5	60			

※取組名ごとに評価集計します。1つの取組名で指標が複数の場合は測定結果の平均を基本とし評価集計します。

指標の計画値 無の場合

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
通しNo. ○○○○○ 事業	設定無	R3	○	実施状況の内容や成果、課題や実施できない場合の状況等を簡略に記入 ↑ 進捗状況を選択する。 ◎優良、○おおむね良好、△やや低調、×低調
		R4		
		R5		

令和3年度の施策121件の取組の進捗状況を各章・通常施策と重点施策、指標の有無で区分した実施結果を次の表のとおり集計しました。

また、指標の有無の区分を評価区分A・B・C・Dで集計したものを「実施結果 計」として表しています。

区分	指標 有 施策				指標 無 施策				評価 計				
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	
実施結果 (自己評価)	100% 以上	75.0~ 99.9%	50.0~ 74.9%	50% 未満	◎ 優良	○ おおむ ね良好	△ やや 低調	× 低調	優良	良好	やや 低調	低調	
第1章 37	通常21	3	7	2	5	2	2			5	9	2	5
	重点16	2	4	7	1	1	1			3	5	7	1
	計	5	11	9	6	3	3	0	0	8	14	9	6
第2章 67	通常45	9	5	1		20	10			29	15	1	0
	重点22	2	1	1	1	8	8	1		10	9	2	1
	計	11	6	2	1	28	18	1	0	39	24	3	1
第3章 17	通常 4					3	1			3	1	0	0
	重点13	1			1	8	3			9	3	0	1
	計	1	0	0	1	11	4	0	0	12	4	0	1
合計	17	17	11	8	42	25	1	0	59	42	12	8	
121 施策					53				68				121

【令和3年度 進行管理(進捗状況)の概要】

重点・通常事業とも、指標有施策ではAとBが32.1%(17/53)とそれぞれ多く、指標無施策ではAが61.8%(42/68)と最も多くなっています。

また、結果計にあってもB以上が83.5%((59+42)/121)となっています。CやDの結果は20施策ですが、コロナ禍による施設等の利用方法の制限等が大きく影響しています。これらにより、令和3年度各施策は堅実にすすめていることが判断できます。

今回、全施策の評価実施を実施しましたが、さらに内容について全体的に統一した評価を実施する課題があり、今後も点検・評価を推進していく必要があります。

(3) 令和3年度 重点施策の評価(課題・対応)について

第8期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

項目番号	区分	取組	第8期計画における具体的な取組	章	取組No.
		目標	第8期計画における事業内容、指標等		
		結果	実施内容		
		課題と対策			
1	① 自立支援、介護予防、重度化防止	取組	在宅生活を支える体制の充実 (生活支援体制の整備)	第2章-4-(1)	取組No. 77
		目標	協議体の開催 20回		
		結果	協議体の開催 5回		
		課題と対策	コロナ禍でも、リモート会議や十分な感染防止対策を施した上で協議体を実施してきたが、コロナ感染拡大(第5波、第6波)の影響は大きく、目標回数には届かなかった。令和4年度は更なる工夫を講じながら、地域の課題抽出や生活支援に関する資源の開発等に関する話し合いの場が停滞することのないよう実施してまいりたい。		
2		取組	介護予防の総合的な推進 (介護予防普及啓発事業)	第1章-3-(1)	取組No. 22
		目標	介護予防教室等の開催:950回		
		結果	介護予防教室等の開催:376回		
		課題と対策	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集団形式による事業を実施できなかった。代替として市の広報紙、HPや地区回覧等を利用して感染対策やフレイル予防の周知を行った。 今後も感染症の流行状況をみながら、感染対策を十分に講じた上で介護予防教室や体操会の活動支援を行っていく必要がある。		
3		取組	介護予防の総合的な推進 (地域介護予防活動支援事業)	第1章-3-(1)	取組No. 23~26
		目標	・介護予防ボランティア登録者:200人、・地域介護予防活動支援事業補助金の交付:50団体、・活動支援:180回、・週1回以上活動する通いの場:100か所		
		結果	・介護予防ボランティア登録者:178人、・地域介護予防活動支援事業補助金の交付:29団体、活動支援:164回、・週1回以上活動する通いの場:73か所		
		課題と対策	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、通いの場の活動を休止する団体が多かった。各団体に対し、感染対策やフレイル予防のチラシを配布したり、活動再開時は職員が出向いて感染対策の確認を行うなど、活動の支援を行った。今後も感染対策を十分に講じた上で活動支援を継続していく。		
4		取組	介護予防の総合的な推進 (介護予防・生活支援サービス事業)	第1章-3-(2)	取組No. 30・35
		目標	・住民主体による生活援助サービス提供団体への補助:11団体 ・法人と住民が共同しておこなう通所型サービス団体への補助:2団体		
		結果	・住民主体による生活援助サービス提供団体への補助:6団体 ・法人と住民が共同しておこなう通所型サービス団体への補助:2団体		
		課題と対策	住民が自ら担い手として活動する多様なサービスを引き続き維持していくため、住民や団体のニーズを把握しながら、団体への補助を継続していく。		

項目番号	区分	取組	第8期計画における具体的な取組	
		目標	第8期計画における事業内容、指標等	
		結果	実施内容	
		課題と対策		
5	① 自立支援、介護予防、重度化防止	取組	認知症にやさしい佐倉の推進 (認知症の理解を深めるための普及啓発)	第2章-2-(1) 取組No. 53
		目標	・認知症サポーター養成講座の開催:40回、・認知症サポーター受講者:600人、・認知症サポーター数:22,423人	
		結果	・認知症サポーター養成講座の開催:26回、・認知症サポーター受講者:712人、・認知症サポーター数:22,504	
		課題と対策	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集合形式による講座を開催できなかった。代替としてWeb形式を利用した講座を開催した。今後も感染症の流行状況をみながら感染防止対策を十分に講じた上で開催できるよう支援していく。	
6		取組	認知症にやさしい佐倉の推進 (認知症の人と介護者を支えるネットワーク強化とやさしい地域づくり)	第2章-2-(3) 取組No. 58~60
		目標	・認知症初期集中支援チーム:5か所、・認知症地域支援推進員の配置:5人、・オレンジカフェ開設:9か所、	
		結果	・認知症初期集中支援チーム:5か所、・基幹型認知症初期集中支援チーム:1か所、・認知症地域支援推進員の配置:5人、・オレンジカフェ開設:5か所	
		課題と対策	感染拡大防止のためチーム員会議をリモート等で実施し、認知症高齢者等の支援体制を継続できた。オレンジカフェについては少人数で飲食を伴わない内容での開催や、地域における見守り活動、カフェ参加者への声掛け等を行い、認知症の人や家族の支援、つながりを継続できた。今後も感染症の流行状況をみながら新規会場の立ち上げ支援等を実施していく。 なお、令和3年度は試行的に基幹型認知症初期集中支援チームを3圏域で実施した。受診希望をしない困難事例への対応が可能となった。	
7	② 介護給付等費用の適正化	取組	サービスの質の担保 (事業者への指導・監査)	第3章-2-(2) 取組No. 112
		目標	・集団指導:2回 ・実地指導:20回	
		結果	・集団指導:1回 ・実地指導:9回	
		課題と対策	コロナ感染拡大の影響から実地指導を一部リモートとしたものの、当初計画どおりの回数(20回)は実施できなかった。 コロナ禍でも実現可能なリモートによる実地指導を入れ込んだ指導計画の見直しを行う。	
8		取組	介護給付適正化事業の推進	第3章-2-(2) 取組No. 114
		目標	・適正化主要5事業の実施数:5事業	
		結果	・適正化主要5事業の実施数:5事業	
		課題と対策	効率的なケアプランチェックを進めるため、令和3年度からシステムを導入した。 一方、縦覧点検10帳票の活用については引き続き検討の余地がある。	

(4) 令和3年度 評価(総合)について

令和3年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症対策(コロナ禍)により、様々な活動が制限されました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策について(市ホームページより抜粋)

	発表日	区 分	内 容	期 日 等
参 考	3/17	まん延防止等重点措置	解除	令和4年3月21日
	3/4	まん延防止等重点措置	期間延長	令和4年3月21日まで
	2/10	まん延防止等重点措置	期間延長	令和4年3月6日まで
	1/19	まん延防止等重点措置	実施	令和4年1月21日から2月13日まで
	9/29	緊急事態措置	解除	令和3年9月30日
	9/9	緊急事態措置	期間延長	令和3年9月30日まで
	8/17	緊急事態措置	期間延長	令和3年9月12日まで
	7/30	緊急事態措置	実施	令和3年8月2日から8月31日まで
	7/9	まん延防止等重点措置※	期間延長	令和3年8月22日まで
	6/18	まん延防止等重点措置※	期間延長	令和3年7月11日まで
	5/28	まん延防止等重点措置※	期間延長	令和3年6月20日まで
	5/8	まん延防止等重点措置※	期間延長	令和3年5月31日まで
	4/16	まん延防止等重点措置※	実施	令和3年4月20日から5月11日まで
	※佐倉市は重点措置区域以外			
3/18	4都県緊急事態宣言	解除	令和3年3月21日	

感染症予防対策が明確になり、対策徹底の周知や複数回の予防(ワクチン)接種も進んだ年度であったが、感染種の変化等もあり、感染症対策を実施しても、市職員・包括支援センター・高齢者施設でも感染者が発生する状況でありました。

施策の実施にあたっては、職員の実施方法の検討や参加者の協力のもと、基本的な感染対策の実施、密を避ける・リモート・書面による会議等の開催など、新しい形での方式により、会議や行事が実施されました。

施策の進行管理(進捗状況)では、コロナ禍による施設使用方法の制限による影響を除くと、各施策項目において堅実に進められていると判断できます。

重点施策の評価(介護保険法に規定する自己評価)項目の、①自立支援・介護予防・重度化防止、②介護給付等費用の適正化でも、コロナ禍の影響を大きく示している。対策にもあるように、コロナ禍での対応や活動再開時の対応を整理して、活動の継続が図られるよう進めていく必要があります。

第8期佐倉市高齢者福祉・介護計画(令和3～5年度)の進行管理・点検評価を、令和3年度分について実施しました。

コロナ禍ではあるが、各施策項目については対策等を講じながら推進されています。

施策項目だけでは内容が分かりづらい面もありますが、今回の進行管理を期に計画内容の更なる把握と課題の発掘がなされ、計画の推進に繋がるよう進めてまいります。

3. 第8期 佐倉市高齢者福祉・介護計画 施策の進捗状況一覧

第8期 計画〔令和3年～令和5年度〕

※ 重点施策

第1章 「生きがい・介護予防」～地域で支え合いながら活躍する高齢者へ～

1 社会参加の促進と敬老意識の高揚

(1) 高齢者の生きがいにつながる情報の提供	① 高齢者の生きがいにつながる各種情報の発信						
	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
	1 高齢者の生きがいに関する情報の発信	情報周知した回数(回)	R3	2	2	100.0%	7/1号こほう佐倉「はつらつ健康・福祉特集号」を発行、各施設にも配布。サービスや役立ち資料の「高齢者を支える地域資源ブック」を作成、配架・HP公表。
			R4	2			
R5			2				

(2) 学習機会の確保	① 公民館等における生涯学習等の推進						
	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
	2 市民大学講座運営事業	講座の開催館数(館)	R3	4	4	100.0%	コロナ禍により事業縮小等もあるが、中央・臼井・志津・根郷公民館で市民大学を実施。
			R4	4			
R5			4				

② 各種出前講座の実施

3	取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要	
	地域等の団体等の要請に応じて職員が出向いて説明	設定無	R3	○	職員による出前講座実施。市民カレッジ他9回。	
			R4			
			R5			

(3) 活動機会の確保

① 地域活動の推進(高齢者クラブ活動への支援、老人憩いの家の管理運営、ボランティア活動への支援、各種公共施設における各種活動の推進、世代間交流を育む活動の推進)

4	高齢者クラブ活動支援事業	周知回数(回)	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
			R3	3	2	66.7%	広報(健康福祉特集号)、市ホームページでの周知を実施。
			R4	3			
		R5	3				
		単位クラブ数(クラブ)	R3	58	49	84.5%	コロナ禍による事業中止等影響あり。単位クラブ数減、総会員数は2,201人
			R4	58			
R5	58						

5	老人憩いの家管理運営事業	利用者数(人)	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
			R3	28,000	7,535	27.0%	コロナ禍影響有。うすい荘362件・2,621人、千代田荘313件・2,609人、志津荘171件・2,305人
			R4	28,000			
R5	28,000						

6	個人ボランティア登録事業	利用者数(人)	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
			R3	280	186	66.5%	佐倉市ボランティアセンターの実績。(活動の相談・支援、ネットワークづくり、養成・研修、情報発信、活動支援、調査研究を実施している。)
			R4	280			
R5	280						

7	市民公益活動サポート管理運営事業	登録団体数(団体)	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
			R3	180	170	94.5%	活動団体相互の交流、情報提供、会議や印刷作業の活動拠点とともに、市民公益活動団体の交流や推進のための支援を継続
			R4	180			
R5	180						

8	公民館管理運営事業	利用者数(人)	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
			R3	250,000	123,604	49.5%	コロナ禍により利用方法等の制限有。
			R4	250,000			
R5	250,000						

9	コミュニティセンター管理運営事業	利用者数(人)	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
			R3	293,267	81,544	27.9%	コロナ禍により利用方法等の制限有。
			R4	294,713			
R5	296,173						

10	地域福祉センター管理運営事業	利用者数(人)	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
			R3	130,000	56,143	43.2%	コロナ禍により利用方法等の制限有。
			R4	130,000			
R5	130,000						

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
11 児童センター管理運営事業	利用者数(人)	R3	149,328	52,051	34.9%	コロナ禍により利用方法等の制限有。
		R4	150,279			
		R5	151,230			

②就労支援(佐倉市シルバー人材センターへの支援、高齢者福祉作業所の活用、高齢者のための就業に関する相談及び情報提供)

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
12 シルバー人材センター補助事業	会員数(人)	R3	1,200	1,009	84.1%	R2年度1,081人。微減。(コロナ禍の影響も有。)
		R4	1,200			
		R5	1,200			
	就業延人数(人)	R3	115,000	103,679	90.2%	R2年度99,666人。増加であるが以前には届かない。(コロナ禍の影響も有。)
		R4	115,000			
		R5	115,000			
	年間就業率(%)	R3	90.0	82.2	91.4%	R2年度84.3%。微減。(コロナ禍の影響も有。)
		R4	90.0			
		R5	90.0			

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
13 レインボープラザ佐倉管理運営委託事業	利用団体数(団体)	R3	130	128	98.5%	コロナ禍により利用方法等の制限有。
		R4	130			
		R5	130			
	利用者数(人)	R3	1,230	1,051	85.5%	コロナ禍により利用方法等の制限有。
		R4	1,230			
		R5	1,230			

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
14 シルバー人材センター入会説明会	参加者数(人)	R3	320	189	59.1%	説明会参加者のうち、108名が会員に入会。入会率は57%。
		R4	320			
		R5	320			
15 地域職業相談室運営事業	利用者数(人)	R3	10,000	9,796	98.0%	市とハローワークが協力して設置運営。情報提供や各種機関の紹介など、高齢者等の就業機会の確保に向けた活動を継続。
		R4	10,000			
		R5	10,000			

(4) 敬老事業の推進 ①おじいちゃん・おばあちゃんありがとうの気持ちを伝えたい事業の推進

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
16 おじいちゃん・おばあちゃんありがとうの気持ちを伝えたい事業	実施地区数(地区)	R3	7	14	200.0%	R2年度事業開始・6地区社協、R3年度は全地区社協で実施
		R4	7			
		R5	7			
	敬老率(%) ※	R3	80	94	117.5%	コロナ禍において、実施地区が増加。事業の活用が進んでいる。
		R4	80			
		R5	80			

※お年寄り(地域貢献活動を行っているお年寄り)に対して尊敬していると感じる市民の割合

②敬老祝金の贈呈

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
17 敬老祝金贈呈事業	対象者への通知件数(件)	R3	115	113	98.3%	対象者の実績(祝99歳:63人[贈呈金額2万円]、祝100歳:50人[贈呈金額5万円])
		R4	115			
		R5	115			

2 いきいき健康づくり

(1)健康づくりの推進	①心とからだの健康づくり							
	18	取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要		
		設定無		R3	◎	誰でもできる筋力トレーニングとして、佐倉市オリジナル体操を開催(協力:順天堂大学)ホームページへの掲載、体験会も開催。		
		健康寿命の延伸につながる取組みを推進		R4				
				R5				
	②歯と口腔の健康づくり							
	19	取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要		
		設定無		R3	◎	保健事業や介護予防事業において普及啓発を実施。(食生活改善推進員養成講座・出前健康講座・通所型短期集中予防サービス・低栄養予防・口腔教室)		
		市民の歯と口腔の健康づくりを計画的に推進		R4				
				R5				
	③はり、きゅう、マッサージ等利用助成							
	20	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
			申請者数(件)	R3	3,800	3,125	82.3%	R2年度3,200人。微減。(コロナ禍の影響も有。)
				R4	3,800			
				R5	3,800			
		はり・きゅう・マッサージ等施設利用助成事業	発行枚数(枚)	R3	42,000	34,704	82.7%	R2年度35,418枚。微減。(コロナ禍の影響も有。)
				R4	42,000			
				R5	42,000			
		助成券利用率(%)	R3	48.0	51.2	106.7%	利用枚数17,770枚、助成総額10,662,000円。(コロナ禍の影響も有。)	
			R4	48.0				
	R5		48.0					
(2)スポーツ活動の推進	ライフステージに応じた健康・体力づくり(佐倉市スポーツ振興計画)の取り組みとして、高齢者のスポーツ活動を推進							
	21	取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要		
		設定無		R3	○	介護予防教室、わくわく体操会等の普及啓発活動を376回実施(市33回、包括343回)。わくわく体操会の団体支援28回、新規立ち上げ団体支援1団体実施。高齢者クラブのスポーツ活動を支援。		
		高齢者のスポーツや仲間づくり活動を推進		R4				
			R5					

3 介護予防の総合的な推進

(1)一般介護予防事業	①介護予防把握事業 ②介護予防普及啓発事業							
	22	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
		介護予防教室等の開催	回数(回)	R3	950	376	39.6%	介護予防教室や住民主体の通いの場づくりの、わくわく体操会などを376回実施(市33回、包括343回)。市の広報紙・HP、地区回覧等を利用して周知を実施。
				R4	950			
	R5			950				
	③地域介護予防活動支援事業 ④地域リハビリテーション活動支援事業							
	23	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
		介護予防ボランティア	登録人数(人)	R3	200	178	89.0%	新型コロナウイルスの影響を受け、養成講座は1回。参加者6名、新規登録者4名。
				R4	210			
	R5			220				
	24	補助金の交付団体	団体数(団体)	R3	50	29	58.0%	地域で介護予防活動を行っている団体に補助金を交付しました。前年度より1団体減。
				R4	50			
				R5	50			
	25	活動支援	回数(回)	R3	180	164	91.2%	感染症対策の確認、継続支援を実施しました。
				R4	185			
				R5	190			
	26	週1回以上活動する通いの場	か所数(か所)	R3	100	73	73.0%	コロナ禍の影響により減少しています。
				R4	105			
R5				110				
		参加者数(人)	R3	2,000	1,435	71.8%	開催団体数が減少したため、参加者も減少しました。	
			R4	2,100				
			R5	2,200				

④地域リハビリテーション活動支援事業

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
27	設定無	R3	○	通いの場、地域ケア会議、個別訪問による相談に必要に応じ対応しました。
		R4		
		R5		
地域ケア会議などで専門職による支援を実施				

(2)介護予防・生活支援サービス事業

①訪問型

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
28	訪問介護相当サービス 利用者数(人)	R3	490	487	99.4%	概ね計画値どおり。
		R4	473			
		R5	457			
29	訪問型生活支援サービス 利用者数(人)	R3	8	5	62.5%	概ね計画値どおり。
		R4	8			
		R5	8			
30	訪問型サービスB補助金の交付 団体数(団体)	R3	11	6	54.6%	令和2年度実績も6団体。今後とも活動団体に対し、後方支援を継続していきたい。
		R4	11			
		R5	11			
31	訪問型短期集中予防サービス 利用者数(人)	R3	5	3	60.0%	対象者が把握された際に随時対応していきます。
		R4	5			
		R5	5			
32	訪問型サービスD補助金の交付 団体数(団体)	R3	2	2	100.0%	令和2年度実績も2団体。今後とも活動団体に対し、後方支援を継続していきたい。
		R4	2			
		R5	2			

②通所型

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
33	通所介護相当サービス 利用者数(人)	R3	1,239	919	74.2%	令和2年度実績914人。コロナ禍が続くことで、通所サービスを自粛される方がいるのではと思われる。
		R4	1,318			
		R5	1,402			
34	通所型短期集中予防サービス 利用者数(人)	R3	18	11	61.2%	コロナ禍により定員、期間を縮小して開催。
		R4	18			
		R5	18			
35	法人主体の通所型サービス 団体数(団体)	R3	2	2	100.0%	令和2年度実績は1団体。令和3年度は実施法人側において感染予防対策を講じながら事業実施ができた。
		R4	2			
		R5	2			

③その他の生活支援サービス

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
36	設定無	R3	◎	個別事例の困りごとから地域課題を抽出し、解決策について話し合う地域ケア圏域推進会議を12回開催した。また、リモート会議等、感染防止対策を講じながら、協議体を5回実施した。
		R4		
		R5		
地域ケア会議などによる連携・協働による資源開発等を推進				

④介護予防ケアマネジメント

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
37	介護予防ケアマネジメント 要支援相当数(人)	R3	3,099	3,016	97.4%	概ね計画値どおり。
		R4	3,229			
		R5	3,364			
	延べ利用者数(人)	R3	10,120	8,710	86.1%	コロナ禍によるサービス利用の自粛等が原因と思われる。
		R4	10,120			
		R5	10,120			

第2章「安心な生活の確保」～住み慣れたまちで自分らしく暮らすために～

1 安心できる在宅福祉サービスの提供

(1)ひとり暮らし・高齢者世帯を支える在宅福祉サービス

①高齢者等ふれあい配食サービス

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
38 高齢者等ふれあい配食サービス	配食対象者数(人)	R3	110	138	125.5%	実績値は年度末利用者数。令和2年度実績値は124人。
		R4	115			
		R5	115			
	延べ配食数(食)	R3	17,680	15,463	87.5%	令和2年度実績値は14,346食。介護サービスと連携した見守り体制をとっており、利用者数は増えているが、1人あたりの平均利用回数が減少し延べ食数は減少した。
		R4	18,480			
		R5	18,480			

②緊急通報装置の貸与

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
39 緊急通報装置の貸与	貸与対象者数(人)	R3	170	161	94.8%	実績値は平均月利用者数。令和2年度は154人。令和4年度より事業内容を見直して実施。
		R4	170			
		R5	170			

③高齢者台帳への登録

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
40	設定無	R3	◎	希望者の登録情報は見守りや緊急時対応に備え、民生委員による近況確認や情報更新を実施した。
		R4		
		R5		

(2)在宅生活における介護者等への負担軽減

①紙おむつ等の購入費用助成

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
41 紙おむつ等購入助成事業	申請件数(件)	R3	1,500	1,340	89.4%	R2年度1,247枚。微増。
		R4	1,650			
		R5	1,800			
	助成券利用実績(件)	R3	21,230	19,651	92.6%	R2年度18,707枚。増加。助成金額29,476,500円。
		R4	23,300			
		R5	25,600			

②訪問理美容出張費用の助成 ③生活管理指導短期宿泊(ショートステイ) ④福祉タクシー利用料金の助成 ⑤介護者教室

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
42 訪問理容室出張費用の助成	設定無	R3	◎	R2年度～R3年度は、過年度より申請件数及び利用実績が増加した。
		R4		
		R5		
43 生活管理指導短期宿泊(ショートステイ)	設定無	R3	◎	介護保険サービス対象外の高齢者の緊急的な宿泊先として提供した。
		R4		
		R5		
44 福祉タクシー利用料金の助成	設定無	R3	◎	身体障害者等のほかに、65歳以上で寝たきり高齢者台帳に登録している方にも、利用助成を行っています。
		R4		
		R5		
45 介護者教室	設定無	R3	◎	介護に関する基本的な知識を学ぶ教室を20回開催し、291人が参加。
		R4		
		R5		

⑥介護者のつどい

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
46 介護者のつどい	開催回数(件)	R3	40	25	62.5%	コロナ禍において、開催計画の一部を中止した。
		R4	40			
		R5	40			
	延べ参加者数(人)	R3	304	133	43.8%	感染防止対策の観点から、少人数で開催した。
		R4	344			
		R5	385			

⑦介護マークの交付

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
47	設定無 介護マークの交付及び制度の普及啓発	R3	◎	令和3年度の交付件数は2件。
		R4		
		R5		

(3)見守り支援・もしもの時の支援

①安心カードの交付

※令和3年度より配付方法を要申請から備え置き配布に変更したため、指標を測定から進捗に変更

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	進捗	事業に対する概要
48	安心カード配布事業 提供枚数(枚)	R3	60			◎	高齢者福祉課への申請・交付から、公共施設等での自作可能なカード用紙の配布に変更しました。
		R4	70				
		R5	80				

②緊急医療情報キットの給付

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
49	高齢者安心キット給付事業 周知回数(回)	R3	2	2	100.0%	広報、ホームページによる市民への周知のほか、警察署及び消防署への周知実施
		R4	2			
		R5	2			
	配布数(個)	R3	3,000	2,496	83.2%	R2年度2,549個。微減。
		R4	3,750			
		R5	3,850			

③佐倉市高齢者見守り協力事業者ネットワーク

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
50	設定無 高齢者の異変等の早期対応を図る協定事業者の拡大	R3	◎	年度末登録事業者83社。対応マニュアルを作成し、全事業者へ配布した。
		R4		
		R5		

④2市1町SOSネットワーク

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
51	2市1町SOSネットワーク 検索回数(回)	R3	40	31	77.5%	ネットワーク構成機関と連携し、防災無線、メール配信等による情報提供を実施した。
		R4	40			
		R5	40			
	事前登録者数(ステッカー交付数)	R3	40	35	87.5%	公共施設でのチラシ配架、各種行事でのチラシ配布等により、啓発及び登録促進を進めた。
		R4	40			
		R5	40			

⑤高齢者見守り事業

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
52	設定無 地域の見守り体制の強化を図る	R3	◎	「気づき」・「つなぎ」に特化したパンフ・チラシ等を作成。世帯回覧、佐倉市HP及び公共施設での配架等、周知・啓発を実施した。
		R4		
		R5		

2 認知症にやさしい佐倉の推進

(1)認知症の理解を深めるための普及・啓発

①認知症サポーター養成講座

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
53	認知症サポーター養成講座 開催回数(回)	R3	40	26	65.0%	市職員・小学校・学童保育所・自治会・まちづくり協議会・薬局・薬剤師会・民間事業所(美容室)・ボランティア・公民館事業の受講生・一般市民向けに実施しました。
		R4	40			
		R5	40			
	受講者数(人)	R3	600	712	118.7%	男性304人、女性408人が受講しました。男性70歳代、女性40歳代の受講者が多かったです。
		R4	600			
		R5	600			
	サポーター数(人)	R3	22,423	22,504	100.4%	平成18年からの累積値になります。
		R4	23,023			
		R5	23,623			

②広報やリーフレットなどによる、認知症の理解促進等 ③認知症サポート医、認知症専門医による普及・啓発

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
54 広報やリーフレットなどによる、認知症の理解促進等	設定無	R3	◎	世界アルツハイマーデーに合わせ、認知症の理解促進のために風車をオレンジ色にライトアップしました。
		R4		
		R5		
55 認知症サポート医、認知症専門医による普及・啓発	設定無	R3	○	令和4年3月に地域の専門医による地域講座を開催、市民33人が参加。
		R4		
		R5		

(2) 予防

運動不足の改善、社会的孤立の役割の保持等が認知症の予防には有効。地域において高齢者が身近に通うことができる通いの場を拡充

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
56 介護予防の総合的な推進	設定無	R3	○	通いの場の一つである「佐倉わくわく体操会」が、新規に2団体立ち上がりました。
		R4		
		R5		

(3) 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

①物忘れ相談の実施

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
57 専門医等による個別相談を実施	設定無	R3	○	10回/年、26件の利用がありました。相談者の平均年齢は77歳、最高齢86歳、最年少63歳でした。
		R4		
		R5		

②認知症初期集中支援チームの配置 ⑤認知症地域支援推進員の配置 ⑥認知症カフェの開設

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
58 認知症初期集中支援チーム	チーム数(チーム)	R3	5	5	100.0%	各包括支援センターに1チームずつ配置し初動対応を行ったほか、支援困難な事例に対応する基幹型認知症初期集中支援チーム員訪問活動モデル事業を行いました。
		R4	5			
		R5	5			
59 認知症地域支援推進員	配置人数(人)	R3	5	5	100.0%	各包括支援センターに1名ずつ配置しました。
		R4	5			
		R5	5			
60 認知症カフェ	開催数(回)	R3	9	5	55.6%	5か所で開催し、開催回数54回、延べ参加者数573人でした。感染拡大時はカフェの開催に代わり個別相談や訪問を行いました。
		R4	9			
		R5	9			

③認知症連携シート「さくらバス」の積極的な活用推進 ④多職種連携研修会の開催 ⑦家族介護支援(介護者教室・介護者のつどい)の開催

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
61 認知症連携シート「さくらバス」の積極的な活用推進	設定無	R3	○	物忘れ相談で活用しました。
		R4		
		R5		
62 多職種連携研修会の開催	設定無	R3	△	新型コロナウイルス感染症の影響もあり実施できませんでした。
		R4		
		R5		
63 家族介護支援(介護者教室・介護者のつどい)の開催	設定無	R3	○	【介護者教室】20回、291名参加【介護者のつどい】25回開催133名参加(コロナ禍で一部中止)
		R4		
		R5		

(4) 認知症バリアフリー、若年性認知症の人の支援、社会参加支援

①認知症高齢者声かけ訓練の実施 ②若年性認知症の人への支援、社会参加支援 ③チームオレンジの整備 ④高齢者の虐待防止ネットワークの活用 ⑤2市1町SOSネットワーク ⑥成年後見制度利用支援

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
64 認知症高齢者声かけ訓練の実施	設定無	R3	◎	令和3年度は2団体(上志津三区自治会・下志津区)が実施した。
		R4		
		R5		
65 若年性認知症の人への支援、社会参加支援	設定無	R3	◎	他市で開催している若年性認知症イベント、オンラインカフェに佐倉市内の対象者を紹介し、随行しました。(包括支援センター)
		R4		
		R5		

66	チームオレン ジの整備	設定無	R3	◎	認知症サポーター養成講座を修了した人を対象にステップアップ講座を開催(1コース全3回)、34人が登録しました。	
			R4			
			R5			
	67	高齢者の虐 待防止ネット ワークの活 用	設定無	R3	◎	地域の関係機関及び庁内虐待担当部署と連携した支援の提供、情報共有、周知活動等を行った。
				R4		
				R5		
	68	2市1町SOS ネットワーク	設定無	R3	◎	ネットワーク構成機関と連携し、認知症高齢者等の早期発見や安全確保に努めた。
				R4		
				R5		
	69	成年後見制 度利用支援	設定無	R3	◎	中核機関(佐倉市成年後見支援センター)による専門相談会、講演会を実施し、利用のための支援や普及啓発活動を行った。成年後見制度利用に係る費用の助成を行った。
				R4		
				R5		

3 権利擁護と地域での見守り

(1)成年後 見制度	①成年後見制度利用支援 ②成年後見審判請求事務等					
	70	成年後見制 度利用促進	設定無	R3	◎	中核機関(佐倉市成年後見支援センター)による専門相談会、講演会等を実施し、利用のための支援や普及啓発活動を行った。成年後見制度利用に係る費用の助成を行った。
				R4		
				R5		
	71	成年後見審 判請求事務 等	設定無	R3	◎	親族による申立が期待できない高齢者(16人)の請求事務を実施した。
				R4		
				R5		
	(2)地域福 祉権利擁 護事業(日 常生活自 立支援事 業)	認知症等により、生活上に問題を抱える高齢者が尊厳のある生活を維持し安心して生活が送れるよう、援助・支援に地域で連携				
		72	設定無	R3	◎	支援を必要とする方について、佐倉市社会福祉協議会へつなぐ等の利用支援を適宜実施した。
				R4		
				R5		
				福祉サービスの利用手続きの代行など、地域と連携して支援		
(3)高齢者 の虐待防止	①高齢者をとりまく地域における見守り意識の高揚 ②佐倉市高齢者虐待防止ネットワークの活用					
	73	高齢者をとり まく地域にお ける見守り意 識の高揚	設定無	R3	◎	「気づき」と「つながり」に特化したパンフ・チラシ等を作成。世帯回覧、佐倉市HP及び公共施設での配架等、周知・啓発を実施した。
				R4		
				R5		
	74	佐倉市高齢 者虐待防止 ネットワー クの活用	設定無	R3	◎	地域の関係機関及び庁内虐待担当部署と連携した支援の提供、情報共有、周知活動等を行った。
				R4		
				R5		
	(4)養護老 人ホームへ の適切な入 所措置	心身の状況、その置かれている環境の状況等を総合的に勘案して、老人福祉法第11条の規定による入所等の措置を行う				
		75	設定無	R3	◎	在宅生活に支障がある高齢者に対し、措置入所を実施した。
				R4		
				R5		
				養護老人ホームへの適切な入所措置等		

4 在宅生活を支える体制の充実

(1)生活支 援体制の整 備	①生活支援コーディネーターの配置				
	76	設定無	R3	◎	介護予防活動団体への支援や地域課題の把握、地域資源の発掘、育成を推進しながら、地域の様々な主体と協議等を実施した。
			R4		
			R5		
			各地域包括支援センターに配置し、生活支援サービス提供体制整備を推進		

②協議体の設置及び運営

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
77 協議体	開催数(回)	R3	20	5	25.0%	コロナ禍でも、リモート会議や感染症防止対策を講じながら実施してきたが、コロナ感染拡大の影響は大きく、目標回数には届かなかった。
		R4	20			
		R5	20			

(2)地域ケア会議の推進

①地域ケア個別会議の実施 ②地域ケア推進会議の実施 ③介護予防のための地域ケア個別会議の取組強化

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
78 地域ケア個別会議の実施	設定無	R3	○	個別事例に関する自立した生活のための支援方法や支援が困難な事例の検討を72回実施しました。
		R4		
		R5		
79 地域ケア推進会議の実施	設定無	R3	○	個別事例の困りごとから地域課題を抽出し、解決策について話し合う地域ケア圏域推進会議を12回開催しました。
		R4		
		R5		
80 介護予防のための地域ケア個別会議の取組強化	設定無	R3	○	包括向け「地域個別ケア会議」勉強会を3回、介護支援専門員、保健・医療専門職向け「介護予防のための地域ケア個別会議(自立支援型)研修会」を1回、助言者向け研修を1回実施しました。
		R4		
		R5		

5 高齢者が暮らしやすい住環境の整備

(1)福祉のまちづくり推進

①福祉のまちづくりの推進 ②公共公益施設等の整備におけるユニバーサルデザイン化の推進

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
81 福祉のまちづくりの推進	設定無	R3	○	バリアフリー法、県福祉のまちづくり条例や市総合計画のもと、各種事業を推進している。
		R4		
		R5		
82 公共公益施設等の整備におけるユニバーサルデザイン化の推進	設定無	R3	○	バリアフリー法、県福祉のまちづくり条例や市総合計画のもと、だれもが円滑に利用できるユニバーサルデザインによる施設整備等に取り組んでいる。
		R4		
		R5		

(2)安心して利用できる交通基盤の整備

①道路整備 ②公共交通の整備 ③交通安全の推進 ④移動が困難な高齢者に対する支援

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
83 道路整備	設定無	R3	○	市総合計画のもと、土木部が主管となり、各種事業を推進しています。高齢者等が安心安全に移動できるよう、幹線道路の整備を進めています。
		R4		
		R5		
84 公共交通の整備	設定無	R3	◎	市総合計画のもと、都市部が主管となり、各種事業を推進しています。コミュニティバスの新路線(1路線)の運行を開始しました。
		R4		
		R5		
85 交通安全の推進	設定無	R3	○	市総合計画のもと、土木部が主管となり、各種事業を推進しています。区画線補修、街灯設置、道路反射鏡設置、通学路安全対策を実施し、交通事故の防止を図るとともに、交通安全の促進を図っています。
		R4		
		R5		
86 移動が困難な高齢者に対する支援	設定無	R3	◎	福祉有償運送運営協議会を1回開催しました。福祉有償運送の必要性、新規登録申請1件、再登録申請1件について協議しました。
		R4		
		R5		

(3)高齢者が生活しやすい住まいの整備

①市営住宅の改修 ②高齢者に配慮したまちづくり・住宅づくりの誘導 ③介護保険サービスにおける住宅改修費支給 ④高齢者の住まいに関する情報提供、相談活動 ⑤高齢者施設の整備方針について

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
87 市営住宅の改修	設定無	R3	○	市営住宅の風呂釜の修繕・交換に合わせて、浴槽のバリアフリー化を図りました。
		R4		
		R5		
88 高齢者に配慮したまちづくり・住宅づくりの誘導	設定無	R3	◎	1:「バリアフリー法」や「千葉県福祉のまちづくり条例」に基づき、高齢者等に配慮した住宅づくりを推進するよう、建築主に対して要請・指導を行いました。 2:有料老人ホームの整備については、当該計画(第8期の施設整備計画)に基づき、施設整備法人の公募を実施し、1施設の整備法人を決定いたしました。
		R4		
		R5		

89	介護保険サービスにおける住宅改修費支給	設定無	R3	◎	自宅内での生活に支障が無いように、対象となる改修を行った場合の改修費用を支援している。
			R4		
			R5		
90	高齢者の住まいに関する情報提供、相談活動	設定無	R3	○	空き家バンク制度などの活用による情報提供及び佐倉市住宅相談協議会との連携による相談活動を行いました。
			R4		
			R5		
91	高齢者施設の整備方針について	設定無	R3	○	第8期の施設整備計画のもと、施設整備法人の公募を実施し、1施設の整備法人を決定しました。
			R4		
			R5		

6 地域包括支援センターの運営

(1) 安定した事業運営

① 地域包括支援センターの設置

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
92 地域包括支援センター	設置数(か所)	R3	5	5	100.0%	市内5つの生活圏域に1か所ずつ地域包括支援センターを設置し運営している。
		R4	5			
		R5	5			

② 専門職の配置

○ 【ア 第1号被保険者(65歳以上高齢者)数が6,000人未満の場合】

配置基準	第1号被保険者 (65歳以上の高齢者)	職種及び職員数		
		保健師・看護師	社会福祉士	主任介護支援専門員
	概ね1,000人未満	3職種のうち1～2名		
	1,000人～1,999人	3職種のうち2名		
	2,000人～2,999人	1名	いずれか1名	
	3,000人～5,999人	1名	1名	1名

【イ 第1号被保険者(65歳以上高齢者)数が6,000人以上の場合】

圏域の高齢者人口及び面積を考慮し、3職種の数を定めます。

○ 配置基準

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
93 志津北部地域包括支援センター職員配置人数	3職種(人)	R3	7	7	100.0%	計画どおり配置することができた。
		R4	7			
		R5	7			
	その他職員(人)	R3	2	2	100.0%	計画どおり配置することができた。
		R4	2			
		R5	2			
94 志津南部地域包括支援センター職員配置人数	3職種(人)	R3	6	6	100.0%	計画どおり配置することができた。ただし、保健師を配置することができなかった。
		R4	6			
		R5	6			
	その他職員(人)	R3	2	2	100.0%	計画どおり配置することができた。
		R4	2			
		R5	2			
95 白井・千代田地域包括支援センター職員配置人数	3職種(人)	R3	7	7	100.0%	計画どおり配置することができた。
		R4	8			
		R5	8			
	その他職員(人)	R3	2	2	100.0%	計画どおり配置することができた。
		R4	2			
		R5	2			
96 佐倉地域包括支援センター職員配置人数	3職種(人)	R3	6	6	100.0%	計画どおり配置することができた。
		R4	6			
		R5	6			
	その他職員(人)	R3	2	2	100.0%	計画どおり配置することができた。
		R4	2			
		R5	2			

97	南部地域包括支援センター職員配置人数	3職種(人)	R3	6	6	100.0%	計画どおり配置することができた。ただし、保健師を配置することができなかった。
			R4	6			
			R5	6			
		その他職員(人)	R3	2	2	100.0%	計画どおり配置することができた。
			R4	2			
			R5	2			

(2)多様な相談体制(総合相談)	98	総合相談	相談件数(件)	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
				R3	5,031	5,120	101.8%	コロナ禍が続く中でも、感染者数の減少時期や自粛緩和等により、令和2年度(4,688件)から増加したものと考えている。
				R4	5,121			
				R5	5,213			

(3)専門職による介護支援専門員の支援体制	99	介護支援専門員相談件数	相談件数(件)	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
				R3	580	919	158.5%	感染者数の減少時期や自粛緩和等により、利用者の動きも出てきた結果、ケアマネージャーからの相談件数が増加したものと考えている。
				R4	580			
				R5	580			

(4)圏域間の連携	100	連携会議	会議回数(回)	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
				R3	20	18	90.0%	管理者会議10回、ケース検討会議8回。対面会議の他、リモート会議や書面会議等、感染予防対策を講じながら実施した。
				R4	20			
				R5	20			

(5)地域包括支援センターの事業評価	101	設定無	年度	進捗	事業に対する概要
			R3	◎	市及び各センターの事業評価の結果を基に、次年度の運営方針を作成した。
			R4		
			R5		

7 災害・感染症対策の推進

(1)災害への対応	102	高齢者施設の整備方針について	設定無	R3	○	市地域防災計画のもと、主に危機管理部が主管となり、調査・連携事業を推進している。
				R4		
				R5		
		在宅避難者への対応	設定無	R3	○	市地域防災計画のもと、主に危機管理部が主管となり、調査・連携事業を推進している。
				R4		
				R5		

(2)感染症等による健康危機への対応	104	適切でわかりやすい啓発実施	年度	進捗	事業に対する概要
			R3	○	主に健康推進部が主管となり、情報把握・各所属との連携、広報等による周知や啓発を行っている。担当課においては各施設等への周知を図っている。
			R4		
			R5		

第3章 「医療・介護」 ～いつまでも自分らしく生きるために～

1 在宅医療・介護の連携と推進

(1)医療・介護連携における課題の把握と対応策の検討	105	住み慣れた地域で継続して日常生活を営めるよう、地域の医療・介護関係者へのヒアリングや実態把握を行い、対応策を検討	取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
			設定無		R3	◎	「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」ポイントについて勉強会を実施
			在宅医療・介護連絡会議において対応等を検討		R4		
	R5						
(2)医療・介護関係者に対する相談体制の構築	106	地域の医療介護関係者からの在宅医療・介護連携に関する相談に応じ、必要な情報の提供及び助言等、必要な援助を行う	取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
			設定無		R3	◎	各包括支援センターに相談窓口を設けました。市の窓口としては高齢者福祉課の専門職が対応できるよう配置しました。
			必要な情報の提供、助言、援助		R4		
	R5						
(3)地域住民への普及啓発	107	自らが必要なサービスを適切に選択できるような在宅医療と介護の学習会等を開催、「わたしらしく生きるを支える手帳」の普及・活用	取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
			設定無		R3	○	田前健康教育のメニューとして勉強の場を設けましたが、実績がありませんでした。包括支援センター、郵便局、医療機関等の窓口を設置し希望者が手に入れやすい環境を整えました。
			学習会や講演会の開催、手帳の普及や啓発		R4		
	R5						
(4)切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築・推進	108	医療・介護関係者が速やかに情報共有する体制の整備。多職種が連携するための事例検討会等を開催し、顔の見える関係を構築	取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
			設定無		R3	◎	多職種研修会「医療と介護の連携 ～行政・薬局・病院の取り組み～」を1回実施 80名参加しました。
			多職種が連携する研修会や事例検討会の開催		R4		
	R5						

2 介護保険制度の適正な運営

(1)介護保険サービスの推進	109	①事業所の整備	設定無	年度	進捗	事業に対する概要					
				R3	◎	特定施設入居者生活介護1施設が開設					
				R4							
		R5									
		110	②事業者への支援	設定無	R3	◎	介護サービス事業所におけるPCR検査費用の補助(全事業所) 感染対応支援金(入所・入居施設のみ)				
					R4						
					R5						
		111	③共生型サービスの円滑な導入	設定無	R3	◎	県の介護施設整備交付金の共生型サービス事業所の整備推進事業を利用し、介護ベッドを導入した事業所へ補助金を交付				
					R4						
	R5										
(2)介護保険制度の円滑な運営や給付の適正化	112	①サービスの質の担保	サービスの質の担保	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要	
				集団指導回数(回)	R3	2	1	50.0%	zoomにて実施するとともに、参加できない事業所向けに市HPにて資料を掲載		
					R4	2					
					R5	2					
				実施指導回数(回)	R3	20	9	45.0%	居宅介護支援事業所:1事業所 地域密着型サービス事業所:8事業所		
					R4	20					
					R5	20					
				113	②適切な要介護認定の推進	設定無	取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
							設定無		R3	◎	介護認定審査会のリモート開催を導入実施。調査員の雇用を確保し、安定した調査体制を整備。
	迅速な認定体制の整備、電子化等による事務効率化		R4								
		R5									

③介護給付適正化事業の推進

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
114 適正化主要5事業の実施数	事業数(事業)	R3	5	5	100.0%	効率的なケアプランチェックを進めるため、令和3年度からシステムを導入
		R4	5			
		R5	5			

④低所得者等の負担軽減

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
115 利用者負担軽減制度の活用促進や個別制度の周知	設定無	R3	◎	社会福祉法人等による利用者負担軽減制度の利用、高額介護サービス費の支給、負担限度額認定等の事務を適切に執行
		R4		
		R5		

(3)介護サービスの質の向上

①苦情相談体制の充実 ②介護相談員派遣事業の実施 ③介護人材の確保と資質の向上 ④介護従事者への支援と業務効率化

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
116 苦情相談体制の充実	設定無	R3	○	国保連や高齢者福祉課・地域包括支援センターと情報共有し、連携して解決を図るとともに、ケースによっては県にも情報提供
		R4		
		R5		
117 介護相談員派遣事業の実施	設定無	R3	◎	コロナ禍で受入れ施設が減少。受入れ困難な施設には入居者や家族向けに相談先を掲載したチラシを作成し、配布、施設内掲示を依頼した。
		R4		
		R5		
118 介護人材の確保と資質の向上	設定無	R3	○	介護人材の確保に繋がるよう、介護職員初任者研修を実施し、19名が終了。内16名は市内施設に勤務しています。また、各事業所へ研修情報等の情報提供を実施している。
		R4		
		R5		
119 介護従事者への支援と業務効率化	設定無	R3	○	新たに1事業所に介護職員処遇改善加算の取得を促し、計画書作成を援助した。
		R4		
		R5		

(4)介護保険などに関する情報の提供・周知啓発

①介護保険や福祉制度に関する情報の提供 ②介護サービス事業者に関する情報の提供

取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
120 介護保険や福祉制度に関する情報の提供	設定無	R3	◎	地域資源ブックを市役所や各包括支援センター等で配架した。また、市HPに掲載し周知を図った。また、介護給付サービスガイド/マナーフレットを作成・配布した。
		R4		
		R5		
121 介護サービス事業者に関する情報の提供	設定無	R3	◎	厚労省「介護サービス情報公開システム」、千葉県「ちば福祉ナビ」及びサービス提供事業所一覧を随時更新しHPにて掲載
		R4		
		R5		